

京都信用金庫滋賀本部

[テーマ] 仕事と生活の相乗効果

[講師] ファザーリング・ジャパン滋賀
代表 八木 雅彦 氏

[開催日時] 平成 29 年 11 月 9 日 (木)
16:30~17:30

[会場] 京都信用金庫滋賀本部

[参加者] 17 名



講話の内容

○仕事と生活について

- ・平成 29 年 3 月、政府の働き方改革実現会議により、「働き方改革実行計画」が決定された。働き方を見直し、ワーク・ライフ・バランスを実現することが急務である。
- ・従業員の健康の保持や能力向上、仕事への意欲の向上、仕事の効率化など、ワーク・ライフ・バランスを実現すると、企業・事業主側にも利点がたくさんある。実際に業績を上げている企業も多い。
- ・ポジティブ・オフ（前向きな休暇取得）という考え方がある。前向きに休暇を取得すると、個人（従業員）は豊かなライフスタイルの実現、企業は長期的な企業価値の向上、社会・経済の活性化に貢献するなど好循環が期待できるという考え方である。

○父親の積極的な子育てへの参加

- ・「ファザーリング・ジャパン滋賀」は、「父親であることを楽しもう」をキャッチフレーズに、「心から笑っている、余裕のある父親」を増やすことを目的に活動している。
- ・父親が積極的に子育てに参画すると、母親の心身の負担や不安を軽減する。父親にとって、家事や育児について勉強する機会は少ないが、積極的に実践に移すことが大事である。
- ・父親が変われば、家庭が変わり、地域が変わり、企業が変わる。そして社会も変わる。

参加者の感想

- ・妻の出産時を思い出し、身にしみる思いで聞かせていただきました。育児を見直し、家庭での子どもとの接し方等、変えていきたいと思えます。
- ・もっと育児に積極的に関わっていこうと思うきっかけとなりました。子どもとの時間をより大切にしていきたいです。また、風呂洗いや掃除など、これまで以上に家事に協力しようと思えました。
- ・産休や育休制度を取得後、職場復帰しました。復帰後は保育園の送迎や家事等、とても忙しい毎日を送っています。父親が少しでも育児に参加すると、母親は体力的にも精神的にも楽になると思えます。働き方改革は、父親にも求められていると思えます。父親が柔軟に休暇を取得できる社会になってほしいと感じました。